

ことば工学研究会  
2002.8.31

「ことばを形にする」  
—ことばを「雑誌」という形にする—  
季刊「InterCommunication」の場合

NTT出版株式会社  
InterCommunication編集室  
大和田 龍夫

## 目次

- 工学というより職人技ですが「雑誌作りとは？」
- 編集という作業は・・・
- 形にするための仲間たち
- 将来の出版事業はどうなる？

# 工学というより職人技ですが 「雑誌作りとは？」

- なぜ雑誌？本ではない、Webでもないことの意味
- 1色？4色？
- 縦組み？横組み？
- 書店に流通することは？



## 編集という作業は・・・

- 企画(著者、印刷、デザイン)
- 原稿依頼 形になる前
- 原稿回収
- 校正
- 図版の収集
- 校閲(校閲者依頼もあり) 形にする行為
- デザイン(デザイナーに依頼する)
- 色校正
- 責了 形に定着する行為
- 納品

# 企画(ICの場合)

- 特集構成
  - 口絵
  - 対談
  - 目玉記事
  - コラム
- 連載
- ICCコーナー
- デザインの方針
- スケジュール
- 用紙手配、雑誌コード、印刷部数、、、

# 原稿依頼と原稿回収

- 依頼と締め切り
- 断われたら
- 原稿が落ちたら
- 台割りとの調整

# 校正

- てにおは合わせから
- 表記の統一
- 原稿を20枚お願いしたものが40枚になってしまったら？！
- 20枚予定の原稿が10枚になってしまったら？！
- 本のタイトル、発行年などの確認作業

# 図版の収集

- 原稿を読み込んで必要と思われる図版の収集
- 著者から提供された図版を使用可能か権利関係を調査確認



# デザイン



- 毎回悩まされる台割りとレイアウト

# 色校正

- 本紙校正
- コンセンサス紙校
- 青焼き校正

# 責了

- いざ印刷へ
- 納品日は厳守という中でどのようにこの日を迎えられるか
- 企画～色校正までの時間配分が雑誌の出来を大きく左右する

# 納品

- 取次へ 書店へ配本
- 定期購読者へ
- 献本先へ(著者など)
  
- ここで初めて「ことばを形に」したことになる
- 形になったことばは読者の基にとどく

# 形にするための仲間たち

- 編集者がおつきあいする人々
  - 著者
  - デザイナー
  - 校閲者
  - 印刷会社の営業
  - 印刷会社の職人
  - 出版社の営業
  - 出版社の制作
  - 取次の仕入れ担当者
  - 書店販売員(担当)

## 将来の出版事業はどうなる？

- 何部刷る？
- いくら儲かる？
- インターネットならただ？

# 雑誌の特徴

- 日刊紙
- 週刊誌
- 月刊誌
- 季刊誌 季刊InterCommunicatonはここ
- 年刊誌
- 別冊

問い合わせ先  
大和田 龍夫  
NTT出版株式会社  
インターコミュニケーション編集室  
owada@nttpub.co.jp  
〒163-1404  
東京都新宿区西新宿東京オペラシティ4階